

牧之原市立図書館基本計画（案）に対する御意見への回答

御意見について、項目別に回答を記載しています。

No	該当部分	御意見	回答
1	計画の概要	みんなが楽しめる、ホッとできるステキな図書館が1日でも早くできることを楽しみにしています。	ご期待に沿えるよう、基本計画の着実な実施を進め、図書館機能の拡充に努めます。
2		時代遅れの牧之原市立図書館事業が、令和の図書館基本計画の理念・方針のもと、早急に世の中の標準に追いつくことを期待し、応援しております。	
3		①You tubeにて 人とまちをつなぐ「ちいさな町の図書館」を考えるシンポジウム」一本のまち明石にむけてー 2014/11/09 明石市役所にて（38：49）を見てみたらどうか？ ②リブライズ ～すべての本棚を図書館に～ も参考にする 気軽に「ちょっと寄ってみようかな」と思える図書館になることを期待します。	市民が気軽に立ち寄ることのできる図書館となるよう、本市の実情に合わせた図書館機能拡充を進めていきます。
4		平成18年12月20日に施行された「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」の目的に沿って、利用者の視点を反映させるべく、当事者の参画による建築物の設計・施工を検討しなければならないと考えます。	ご指摘いただいたような障害者に使いやすい具体的な施設計画、サービス計画は本計画に基づいて別途作成することになりますが、多様な分野の方から意見を聞けるよう配慮します。
5		視覚障害者も牧之原市民として差別されることがないように、関連法及び条例の趣旨に基づき、総合的に原案の修正を求めるものです。	視覚障害者を含め、全ての市民が差別されない図書館運営を行います。なお、牧之原市立図書館にも一部福祉資料等がありますので、貸出しをご希望の際は図書館職員におたずねください。
6		①場所 相良庁舎（建築コストを低減、住民が行きやすい場所、十分な駐車場） ②規模 吉田町図書館並みの蔵書 ③近隣図書館との連携による本の融通（検索、取り寄せ） ④時期 できるだけ早期に（図書館がないことで文化レベルが低いと思われる。）	本計画において、場所については、榛原図書館は榛原文化センターを活用し、相良図書館は民間施設の活用も含めて検討するとしています。 蔵書数は、相良、榛原両図書館それぞれ5万冊、移動図書館は1万冊以上を目標としていますので、本市立図書館全体での蔵書数は吉田町立図書館並みを目指していることとなります。 近隣図書館との連携については、オンラインシステムの導入により可能となります。 時期については、本計画の期間5年間で実現に向け努めてまいります。
7		7つの提言に基づき、図書館計画案に添ってすすめてほしい。	「市民を元気にする図書館7つの提言」の内容を踏まえ、現在図書館が抱える課題を取り上げながら、機能拡充に向けた取組を推進していきます。
8		分担収集や蔵書における資料収集方針と廃棄基準は文書化して基本計画の後ろの資料に付けてください。	【計画へ反映させた意見】 資料へ「牧之原市立図書館 資料収集及び保存・廃棄基準」を追加します。
9		面積や蔵書数や図書館サービスが増える改修後の来館者数の予測と職員配置の計画はありますか。牧之原市民の満足度調査は牧之原市立図書館について28.4%と聞いたが、改修後は目標値45.8%と基本計画に入れますか。	目標値や来館者、職員数については、今後の施設計画等を作る際に検討していきたいと考えています。
10		背景、目的、位置づけがしっかりされていると思います。計画の期間5年間で良いと思いますが、年度ごとの点検・評価を必ず実施してほしいです。	「4 計画の期間」にあるように、年度ごとの点検・評価を実施していきます。
11		この立派で優れた牧之原市の実態にあった計画を、現実のものにするためにどのような仕組みを作り、どう実践していくかのPDCAの仕組み作りが大切だと思います。情報発信や透明感を担保し、計画が実行あるものになることを御期待申し上げます。	

No	該当部分	御意見	回答
12	計画の概要	相良・榛原の図書館を統合（運営コスト削減、面積拡張で多機能を持たせるため）文化センター全体を図書館施設とする。	本計画期間5年間においては、地域の図書ネットワークの中核拠点となる機能を確保するよう、榛原図書館は榛原文化センターを活用して、そして相良図書館は民間の空き施設の活用も含めて検討することとしていますので、統合するという考えは現在のところありません。
13		全国や県の平均からしても相良図書館、榛原図書館共に、あまりに狭隘なので、広げるといふ計画に賛成です。完成までの具体的な場所、日程も早期に知りたいと思います。	施設計画については今後作成していくこととなりますが、場所・日程等についても決まりましたら、広報等で市民のみなさまにお知らせします。
14		全体的に、子育て支援の切り口が文章として少ないように感じました。12頁の(2)取り組みの方向性8行目、「小学校など」の前に、「保健所、子育て支援組織、保育園、幼稚園等」を入れていただければと思います。また9行目の「活字離れ」の前に、「スマホなどのネット環境の広がり」のような意味の言葉も足したらどうかと思いました。	【計画へ反映させた意見】 「第4章 施策の方向性」の「1 暮らしを支える専門サービス」の「(2) 取り組みの方向性」中、「検証を踏まえた上で現在も継続していますが、図書館機能の拡充により実現可能な取組内容が変わるため、学校等や市の他部署」を「検証を踏まえた上で現在も継続しています。しかし、図書館機能の拡充により実現可能な取組内容が変わるため、保育園や幼稚園、学校や市の他部署等」に変更します。 また、「活字離れ」の前に言葉を追加したらどうかの件につきましては、活字離れの要因として、ご意見にあることに加え様々な要因があると考えていますので、変更せず、現行のままとさせていただきます。
15		第5章の「具体的な取り組み」は、どの項も極めて重要でもあり、他自治体の殆どで実現している事でもありますので、絵に描いた餅にならないよう是非実現して欲しいと思います。「1 資料の充実と専門職員の配置の(10) 安定した人員体制の確保」は内容的に「(10) 専門的サービスを保障する人員体制の確保」がふさわしいかと思えます。	【計画へ反映させた意見】 「第5章 具体的な取り組み」の「1 資料の充実と専門職員の配置」の内、「(10) 安定した人員体制の確保」を「(10) 専門的サービスを保障する人員体制の確保」に変更します。
16		P28の5条やP30の(4) 以外に、地震津波水害時における図書館の役割や資料の緊急避難等図書館のリスクについての記述が欲しいです。	今後、各館の施設計画を作成する中で、津波浸水場所以外での郷土資料の保管等を検討していきます。また、危機管理マニュアルの中で、利用者の避難経路等を記述し安全管理に努めます。
17	図書館の現状	牧之原市の教育大綱や総合計画等の資料がつけてあるのでわかりやすいので、さらに総合計画内の産業や観光や福祉分野も掲載してあげれば牧之原市について新しいアイデアや関係性が閃くと思います。	本計画は図書館の機能拡充に向けて計画したものですので、それに関する各計画等の関連する記述のみを記載しております。他の産業や観光等の計画について、今後結びつけることによる効果やメリット等があるものに対しては、協議検討等のうえ、取り入れることもあると考えます。
18		『牧之原市立図書館条例』(P28)の第5条の(3)『館長』の権限についてですが、少し市民に対して威圧的な表現すぎはしないだろうかと思いました。(内容があいまいなため)表現にも“市民のための”という基本の考え方を取り入れてくださればいいなあと思いました。	他市町の条例等を参考にし、表現等を研究していきたいと考えております。
19		「概要」において、休館日の月曜日は、毎週ではなく祝日の月曜日を除く(祝日の月曜日は開館)の記載は?	【計画へ反映させた意見】 「1 牧之原市立図書館の概要」休館日の欄の「月曜・年末年始・地域防災訓練日(半日)・図書整理期間」を「月曜(祝日を除く)・年末年始・防災訓練日・図書整理期間」に変更します。
20		「運営状況」において、平成27年度から平成30年度の実績が掲載されていますが、図書館のポイントとなる年度を何年か分、注釈も記載してほしい。また、来館者数はアナログ計算なので正確ではなく、記載するならその注釈も必要。	本計画は今後の図書館機能拡充に向けての計画であるため、過去数年間を含む現在の運営状況を記載し、その状況と対比しながら今後の機能拡充の方針を示す内容とするものです。なお、来館者数はアナログ計算であっても、概ね信頼できる数字であると考えています。

No	該当部分	御意見	回答
21	図書館の現状	<p>主な事業は、図書館（社会教育課）主催事業と他部署との連携事業の枠を別にした方が良い。細かい事ですが、</p> <p>①ブックスタート事業とちゃちゃっこ（連携記載あり）は、連携事業。図書館へ遊びに行こうは、ちゃちゃっこに含まれます。</p> <p>②夏休みおはなし会→おはなし会や工作</p> <p>③講座「子どもと本」→子どもの本等について学ぶ講座（委託事業）</p> <p>④ぬいぐるみおとまり会→一緒におはなし会を楽しみ、ぬいぐるみのみを図書館におとまりさせ夜の図書館を探検、子どもに本を借りてくれる。</p>	<p>「2 牧之原市立図書館の運営状況」の「主な事業」については、図書館の自主的な事業や委託事業、という分け方をせず、図書館が関わる事業として整理をしました。細かい分類については図書館の事業報告の中で記述していきます。</p>
22		<p>基本計画に記載されている内容に、私も共感できる部分が多くあったと同時に、怒りを感じております。図書館蔵書のオンライン化されていないこと。他の市町と比べて蔵書が少ないこと。図書館床面積から見えてくる絶対的スペースのなさ。</p> <p>静岡県立中央図書館のオンラインである「おうだんくんサーチ」にもこの地域は図書資料が見れない状況にある。</p> <p>あくまで、個人的意見ですが、「この地域は情報が開かれた地域でない。」そう感じてしまいます。</p>	<p>今後、本計画に沿って、図書館オンラインシステムを導入し、おうだんくんサーチへの参加を進めていくのと併せ、蔵書の増量、スペースの確保による図書館機能拡充を進めていきます。</p>
23	基本理念と基本方針	<p>「図書館を利用するのは、本が好きな一部の人」と思っている市民は多く、であいを創る交流・憩いの場となるとは思っていない。空きスペースが少しできた今こそ、利用したことがない市民が足を運ぶような“魅力的な場創り”に努めていきたい。</p>	<p>読書の好きな方はもとより、今まで図書館に足を運んだことのない方にとっても魅力ある場となるよう努めてまいります。</p>
24		<p>学びの基本は『自学自習』であり、そのための『図書館』という環境づくり（時間・場所・雰囲気）はとても大事である。図書館は『生きがいを見つけるための宝庫』であるゆえ、今日の大きな社会問題（ひきこもりやフリーター、無業者、更には自殺者）も、悩む時間を少しでも図書館へ向けてもらい、自学自習のきっかけを作っておくことで問題解決の一助にもなる。長寿社会を迎え、地域の皆さんが安心して幸せに暮らしていける社会を目指すには環境の良い『図書館』を造ることは財政問題（お金）より優先すべきことです。</p>	<p>図書館が読書するだけでなく、生涯学習や交流する場となることは、地域の課題解決につながっていく重要な役割であると捉えており、さらに推進していきます。</p>
25		<p>(1) 機能 市民に必要な「情報収集」「保存」「提供」</p> <p>①情報資料の保存と提示</p> <p>②職員（専門職員・司書等）の確保</p> <p>③施設の確保</p> <p>(2) 図書館の構想（コンセプト）</p> <p>①地域の「知」の原点</p> <p>②地域性のあるもの、個性あふれる図書館</p> <p>③だれにとっても居心地よい場所である。</p> <p>④生涯学習の場として子ども達の学習の場であり、老後の生活支援ができる場所である。</p> <p>⑤常に新鮮で豊かな資料や情報を備えている</p> <p>⑥地域の発展や牧之原市づくりに役立つことができる。</p> <p>⑦地域の歴史や文化や産業を生かして地域の発展に貢献できる。</p> <p>⑧建物は耐震構造で地域のシンボルになるもの</p>	<p>ご指摘いただいた機能やコンセプトはどれも重要な視点であると考えており、すでに計画内に記載されているものもありますが、今後施設やサービスの計画を作成する際の参考とさせていただきます。</p>
26	<p>「基本理念」について、単なる貸出返却ではなく、市民生活を支える知の拠点であること、資料や情報を誰にでも提供する重要な役割があることが重要だと思います。特に牧之原市の郷土資料は、牧之原市の図書館でなくてはならない存在です。そこは、しっかり押さえておきたい点だと思います。</p>	<p>「第5章 具体的な取り組み」の「1 資料の充実と専門職員の配置」の「(1) 資料収集方針の見直し」及び「(2) 暮らしに役立つ蔵書の増加」にありますように、ただ資料を増やすだけでなく、計画的に中身の質もよくしていくことを目指していきます。</p>	

No	該当部分	御意見	回答
27	本念基 方と本 針基理	今後の牧之原市の図書館充実にとってもぜひ協議会を継続的に設置していただきたいと要望いたします。	今後も図書館の運営について協議していく場として、図書館協議会の定期的な開催を行っていきたくと考えています。
28	施策の 方向性・ 具体的 な取り 組み	資格のある専任職員の配置、資料の充実、児童向けサービス学習交流スペースの設置、オンラインシステムの導入などが実現されることを期待しています。	今後図書館機能の拡充により、人員、資料、スペース、ネットワークの各課題が解消されていくと考えており、本基本計画を着実に実施していきます。
29		学校への図書館司書の配置を強く望みます。	本基本計画は公共図書館の計画のため、学校司書の配置については記述していません。なお、所管する学校教育課へご意見があったことを共有しました。
30		バイタリティのあるいろいろなアイディアのある人を館長さんにしてください。	司書資格を有する館長の配置が望ましいと考えますが、司書でなかった場合も図書に関わる職務の経験がある方が図書館長を務める等、図書館機能の拡充に資する人材の配置に努めます。
31		質の高い司書や職員を束ねる図書館長になる方は、やはり司書の資格を持った方をお願いしたいです。（司書資格が望ましい…ではなく）	
32		館長が司書であることは第一条件ではないでしょうか？望ましいはいかなものかと思えます。質の高い職員は必要ですがサービス業なので接客の下手な職員では利用者の足が遠のきますよね。しっかり自覚された方を配置してほしいです。	
33		「おはなしコーナー」を設ける（お話等の催しを聞く）	
34		移動図書館について、利用者を増やす改善策を！	移動図書館の目的として、来館者を増やすだけでなく、図書館遠隔地への支援もあるため、巡回コースや頻度等も含めて本計画の進行に合わせて検討していきます。
35		児童サービスについて、『子ども読書活動推進計画』見直しをしっかりと！	本市の「子ども読書活動推進計画」は平成19年に策定されたものであるため、本基本計画の進行に合わせて、他部署とも連携して改定を進めます。
36		市民サービスの周知（レファレンス、相互貸借、出前おはなし会など）	より多くの市民に図書館サービス等の周知をしていくために、各館の実施計画等の中で具体的な方法を検討していきたくと考えています。
37		蔵書数が少ないので、どうしても近隣の市町の図書館の利用が多くなっていましたが、これからはそれを少しでも解消されることを望みます。	本基本計画の中で各館の蔵書を増量するとともに、ネットワークを構築して市立図書館の資料を一元管理できるようにし、本市の図書館で多くの情報にアクセスできるよう機能の拡充を目指します。
38		本の冊数も平均に徐々に増やしてほしい。	
39		分担収集について、ベストセラーや基本的絵本等は両図書館に必要で同タイトルの本を除くと蔵書11万冊になるが、種類は増えないですね。	
40	御前崎市立図書館や吉田町立図書館に比べて、本の充実度が少なく、ぜひ市立図書館の拡大をお願いしたいと思います。		

No	該当部分	御意見	回答
41	施策の方向性・具体的な取り組み くらしを支える専門サービス	読書通帳を機械で印刷してくれると子どもの読書のはげみになると思います。	本市においても今年度4月の「こどもの読書週間」に合わせ、手書きの読書通帳を実施し好評をいただきました。今後、機械の導入については、ネットワーク構築の進行に合わせて検討します。
42		新しい図書館が魅力的であったとしても、個人的には蔵書数の多い方へ足が向いてしまいそうです。隣の吉田町立図書館には11万冊を超える蔵書がありながら、目的とする本がなくて残念に思うこともままあります。県立中央図書館に20分程度で行けるなら、そちらを根城とするところですか。	図書館機能の拡充により各図書館蔵書数5万冊を目標としているため、それぞれの図書館として見れば吉田町立図書館には及びませんが、市全体として、2館で10万冊に加え移動図書館で1万冊、合計で11万冊をネットワークにより一元的に管理し利用できるようにしていきます。
43		工作や実験など、本と他施設でコラボしてやったりするのも夏休みなど面白いかと思えます。	図書館機能の拡充により、実施できる事業も増える事が考えられますが、具体的には各館のサービス計画の中で検討していきます。
44		ボランティアさん同志、交流の機会や協力体制でおはなし会など計画してほしい。	本市では、市内で活動する図書ボランティアの連絡会として「よも一ね！マキノハラ」を開催し、講演会や研修会を行っています。おはなし会につきましては、現在行っている図書館主催おはなし会へ、ボランティアとの連携をより深めていくよう検討します。
45		バリアフリーにも対応してほしい。	「第5章 具体的な取り組み」の「2 環境の整備とスペースの確保」の「(1)ユニバーサルデザインの推進」にあるように、誰もが使いやすい図書館となるよう配慮します。また、福祉資料等、一部貸出できる資料もありますので、くわしくは図書館窓口までおたずねください。
46		子ども図書委員会（小中高）やボランティアグループを作ってはどうか？	子どもへの支援や関わりについては、「子ども読書活動推進計画」を改定していく中で参考意見とさせていただきます。
47		専任館長と有司書資格正規職員との教育委員会による直接の管理体制をお願いします。また、市長部局に権限移管しないようお願いします。	「第5章 具体的な取り組み」の「1 資料の充実と専門職員の配置」の「(10)安定した人員体制の確保」にあるように、安定した図書館サービスを提供できる人員確保に努めます。また、図書館運営の根幹に係わる業務は教育委員会による直接の管理体制を継続します。
48		「地元市民の雇用」と声高に言っているのですが、都会の企業に利益を回さず近隣市民を雇用してください。	司書資格を有する等、専門サービスを提供できる人材の配置が第一ですが、その方が近隣にお住まいの方であればさらによいと考えます。
49		現在の両図書館のおはなしボランティアや移動図書館等の良いところはそのまま生かしていければ強みになります。	【計画へ反映させた意見】 本市の図書ボランティアはのべ約200人と、とても多くの方が活躍しています。今後の本計画の実現に向けても、これまでと同様、市民とともに作り上げていく、皆でつくる、という思いを込め、「第3章 基本理念と基本方針」の「2 基本方針」中、「以下の基本方針をもとに施策の推進を図ります。」を「以下の基本方針をもとに施策を推進します。推進にあたっては、市民協働による図書館づくりを目指します。」に変更します。

No	該当部分	御意見	回答	
50	施策の方向性・具体的な取り組み	<p>財政が緊迫している状況もありますので、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み終わった個人宅の本の寄付の依頼 ・牧之原市市民と全国各地の牧之原市の出身者に寄付を募る「牧之原・ふるさと図書館基金」を立ち上げる ・香典返しを任意により図書館の資料費寄付に回す取り組み 等 <p>以上は、行政が主導で出来ない場合は、市民の力を借りる、等の柔軟な工夫もありかと思いました。</p>	<p>【計画へ反映させた意見】 「第4章 施策の方向性」の「1 くらしを支える専門サービス」の「(2) 取り組みの方向性」中、「資料収集方針や蔵書構成について見直しを図ります。」の後に「その際、図書への寄贈受入を推進するなど、資料収集のための市民の協力を図ります。」を加えます。</p>	
51		<p>やはり、予算不足のせいなのか、本の数が少ないです。 予算がないなら、最近流行りのクラウドファンディングを利用する手もあるのではないかと思います。 予算がないからと、右肩下がりの予算額、来館者数で納得するのはやめてほしいです。</p>		
52		<p>人的確保には、現職を退いた教職員OB等の再雇用でまかなえるかと思いますが、金銭面では、地元企業からのスポンサー料や医療機関からの寄付金等を募り、必要経費の捻出（市財政からの不足金の回収）を図ったらどうでしょうか。</p>		
53		<p>子どもの足で行ける範囲は限られている。学区内の図書室の充実を希望。</p>		<p>本基本計画では、相良・榛原両図書館の拡充を目指しています。公民館図書室等の拡充は本基本計画内で位置づけておりませんが、今後牧之原市の図書館のあり方を検討していく際の参考とさせていただきます。</p>
54		<p>全国には『まんが図書館』が公立で設置されはじめている。日本のアニメマンガは世界的にも知られた優れた文化。この機会に『まんが図書館』を目指してほしい。家にある古いまんが本を寄贈していただくなど、取り組めることはあるように思う。</p>		<p>【計画へ反映させた意見】 資料収集方針の見直しを図る中で、まんがについても可能な範囲で収集を行っていきけるよう検討していきたいと考えておりますので、「第5章 具体的な取り組み」の「1 資料の充実と専門職員の配置」の「(1) 資料収集の見直し」中、「効果的な資料の収集を行います。」を「効果的かつ柔軟な資料の収集を行います。」に変更します。</p>
55		<p>何かに特化した図書館であれば魅力ある図書館になるのではと思います。例えば「マンガ」などいかがでしょうか？</p>		
56		<p>蔵書、新聞、雑誌等の資料集め。</p>		<p>地域の課題解決に役立つ資料を整備するとともに、情報を扱う職員についても配置に努めます。また、計画の進行に合わせ、より学校等との連携も深めていきます。</p>
57		<p>地域の地場産業を支え、発展の資料や情報の充実。</p>		
58		<p>学校図書館との連携を大切にする。</p>		
59		<p>資料数について、図書館拡充されるなら、当然資料もさらに充実させていく必要があり、寄贈もたくさん受付けてほしい。視聴覚資料提供可能にする。</p>		<p>まずは紙媒体での資料拡充を優先して進めたいと考えておりますが、今後、視聴覚資料を含め、多様なコンテンツでの資料提供を検討していきます。</p>
60		<p>職員について、司書資格を有する専任館長の配置（早急に）や、利用者に親身になって対応でき向上心のある職員配置、図書館現場に何人かは正規職員の配置、職員数を増やし担当も持たせる必要性、土日祝日の委託ももちろんなし、市職員直営、委託事業の見直し。</p>		<p>市が直接雇用できる人材の確保に努めてはいますが、図書館サービス拡充のため、人員が足りない時には一部委託する等、利用者の不便にならないよう柔軟に検討したいと考えています。</p>
61	<p>どの世代でも活用しやすく、学習スペースが充実している施設があると嬉しいです。でも、建物にお金をかけるより、本にお金をかけ充実させてください。</p>	<p>本計画では、新しい図書館を建設するのではなく、今ある施設をリノベーションして図書館として活用することを考えております。新図書館建設よりも安い費用でありながらも、中身のサービスは拡充を図っていきます。</p>		

No	該当部分	御意見	回答
62	施策の方向性・具体的な取り組み	遠いところの方たちにとって移動図書館の存在は大きいと思います。	「第5章 具体的な取り組み」の「1 資料の充実と専門職員の配置」の「(7) 移動図書館車の運行と改善」にあるように、図書館に通うことが困難な市民のため移動図書館車の運行を実施し、また、コースの見直しを図っていきます。
63		企画、運営に中高生の力を借りる事ができたら素晴らしいと思います。若い人の意見も反映できれば、自ずと運営、蔵書など変化してくるのではないのでしょうか。	なつやすみおはなしかい等、学生に参加してもらおう事業をすでに行っておりますが、さらに運営に参画できる体制作りについて検討していきます。
64		新聞の種類、雑誌（月刊、週刊など）増やしていただきたいです。	「第5章 具体的な取り組み」の「1 資料の充実と専門職員の配置」の「(2) くに役に立つ蔵書の増加」にあるように、本以外のコンテンツについても拡充することを計画に盛り込んでおり、新聞や雑誌のタイトル数も増やせるように検討していきます。
65		新聞閲覧の拡大（現行の静岡新聞、中日新聞（環境市場新聞）以外に読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞、産経新聞、The Japan Times その他）	
66		一般雑誌の増設（月刊誌など）	
67		書籍の他に、主要な新聞、雑誌も置いてほしいです。	
68		特に改修後のリニューアルオープンした時に新鮮な本が並んでいて、市民がこれなら自分も利用したいと思えるような図書費を初年度はつけてくださるようお願いいたします。	
69		蔵書数をもっと増やしていただき、文学講座や本に関する講座等できる図書館を希望します。	蔵書数は現在よりも多い、各館5万冊を目標にしています。講座についてはP15 1(5) 発見・驚きのある講座やイベントの開催にあるように、各年代の市民が学び楽しめる講演や講座、各種イベントを企画・実施していきます。
70		他市の図書館のベンチマークを行い、特徴有る図書館にしてほしい。図書館は単なる本を並べるだけで無く牧之原市の文化が作れるように期待しています。	「第5章 具体的な取り組み」の「1 資料の充実と専門職員の配置」の「(1) 資料収集方針の見直し」にあるように、牧之原市の産業や歴史、文化について知ることができる資料等、郷土にゆかりのある情報を積極的に収集し、利用者に提供できるように努めます。
71		具体的な取り組みの(5)発見・驚きのある講座やイベントの開催、楽しみにしています。絵本作家さんに壁画（例えばですが）などを描いてもらえたらステキだと思います。田沼塾やはりはら塾の作品を展示するのもいいと思います。	【計画へ反映させた意見】 今まで以上に図書館と関連した講座を開催できるよう検討します。絵本作家による壁画のアイデアは参考にさせていただきます。 また、「第5章 具体的な取り組み」の「1 資料の充実と専門職員の配置」の「(5) 発見・驚きのある講座やイベントの開催」の末尾に、「また、市民の作品展示等、広くアピールする機会を提供します。」を追加します。
72		館長は専任の方を置いてほしいです。	「第5章 具体的な取り組み」の「1 資料の充実と専門職員の配置」の「(10) 安定した人員体制の確保」にあるように、安定した図書館サービスが提供できるよう、専任館長の設置と司書資格を有する職員の確保に努めます。
73		熱意と知識のある専任の館長と専門職員を配置することにより、図書館がより活性化することができるものと思います。	
74		理念の方針にしたがい、図書館長専任、専門職員の確保を望む。	
75		館長や司書（有資格者等）の配置、利用者のニーズにこたえられる職員の配置。	
76	正規職員として図書司書の配置を盛り込んでほしい。		
77	新しくなる図書館には、最低限、専任で司書資格を持った人、臨時職員でも司書資格があり、調べ事に対応できる人、読書相談に乗れるような人を採用して欲しいです。		
78	榛原相良両図書館のリニューアル計画が進んでいる状況において、専任館長（司書資格有り）は早急に設置しなければなりません。一日でも早い設置を！		

No	該当部分	御意見	回答
79	施策の方向性・具体的な取り組み	図書資料の充実は、図書館として最も大切なことだと思います。より多くの予算を市にお願いすると共に、広く市民にも寄付・寄贈を呼び掛けるのも工夫の一つかと思いません。	広報等の方法やタイミングも含め、より広く周知し、資料を充実させられるよう検討します。
80		「市民生活を支える知の拠点」と呼ぶにはするには、問題点も多いが、その大半が予算の増額により、館長をはじめ専任の職員の配置、多くの図書の購入など解決するものも多いように思います。	現在の資料や人員では図書館機能として不十分であり、計画に則って、専任職員の配置及び資料の充実を図っていきます。
81		市の外れにある区にも今からアドバイスをお願いしたいと思います。	図書館から離れた地域には移動図書館車を巡回します。今後巡回コースの見直しを行う中で、遠隔地への支援を拡充したいと考えています。
82		書籍が購入できるようにしてほしい。	図書館内での図書の販売は考えておりませんが、お探しの本が図書館にあるのか、現在販売されているか、絶版になっているのか等お調べすることは可能です。
83		開館時間が夜遅めまでの日を設定してほしい。	開館時間については利用者のニーズや周囲の環境により検討していきます。
84		新刊導入時は貸出期間を短く設定してほしい。	貸出期間については、多くの利用者に不便を与えるため短くすることは難しいと考えますが、貸出資料が延滞となった場合には返却督促のご連絡をする等、資料が円滑に回るように努めます。
85		相良小、中、高生からしたら利用しやすいが、勝間田、坂部、細江等からすると遠いため、移動図書館は必要ではないだろうか？	相良・榛原両図書館の機能を残し、図書館遠隔地を中心に移動図書館車の巡回を行っていきます。
86		新図書館をオープンさせる前に、利用者拡大のための具体的な方法をいくつか準備することを提案します。例えば、市内の小中学校と連携し、児童生徒が「市立図書館で探した私のお気に入りの一冊を紹介し合う授業を実施してもらい、文科系の市民講座の中に図書館での調べ学習を組み入れてもらい、話題になっている新着本の魅力を存分に伝えるメールを発信することなどが考えられます。	「第5章 具体的な取り組み」の「1 資料の充実と専門職員の配置」の「(4) 児童向けサービスのさらなる充実」にあるように、当面の間、現行の「子ども読書活動推進計画」に沿って取り組んでいきます。今後、計画の見直しを図る中で児童サービスの拡充を検討し、図書館として実施可能なことから順次働きかけをしていきます。
87		学校との情報連携の中で代休日は開館を検討または代休の多い月曜日以外の休館はどうか？	他市町の休館日を研究し、月曜日以外での休館について検討します。
88		公民館図書室との連携や図書司書のアドバイスを公民館へ。公民館においては、分野に特化したもので良いと思う。	本基本計画では、相良・榛原図書館の機能拡充を目指しており、現時点では公民館図書室に対する事業は検討しておりません。
89		学校図書とも連携、ボランティアは学校図書室の開室とも共有。	子ども読書活動推進計画に則り、学校との連携を進めていきます。
90		寄贈図書のBOXをおく、または、不要図書のBOXを随時置いてほしい。	寄贈図書については、資料収集基準に基づいて職員が判断するため、自由に置ける寄贈図書BOX等の設置は考えておりません。
91	図書カード（利用）の登録、子どもがしたくても、親に理解がなく借りられない子がいる。学校の証明で借りられるなど、配慮が必要と思う。	他市町の事例を研究し、利用登録の方法について検討します。	
92	資料費（市民ひとりにつき）が県内各市の平均が226円に比し牧之原市は73円と極端に低い状況が分かりました。まずは資料費の確保を具体的な数値を挙げてお願いしたいと思います。	本計画案でもお示ししているよう両館5万冊の蔵書を目標としています。資料費については実施計画の策定の中で決めていきますので、具体的な数字は今後検討してまいります。	

No	該当部分	御意見	回答
93	施策の方向性・具体的な取り組み	まずは専任で正規の司書を置いていただければと思います。計画にある両図書館と移動図書館担当の図書館準備室を設置し、図書館長と複数の職員を専任で配置する。・・を具体的な数と日程で明記して欲しいです。	「図書館準備室」を設置する考えは現在ありませんが、図書館機能の拡充を進めるにあたり、早期に専任館長の配置をしたいと考えています。現時点では、具体的な数や日程を明記するが困難です。
94		牧之原市は市民の読み聞かせボランティアの質と数が高いことが県内でも高く評価されています。公の図書館行政のレベルも、それに応えるものであってほしいと望みます。せっかくできた、この素晴らしい基本計画が早期に実現されるように是非よろしくお願い申し上げます。	本市の図書ボランティアは、のべ200人近くの方が活動しており、優良読書グループの表彰を受けた団体もあるなど、読書活動推進に大きな役割を果たしています。市としても、図書館の機能を拡充し活動を支援していきたいと考えています。
95		重点分野を定めて、それに関する書籍を私費出版から雑誌に至るまで、要望に関わらず集めてほしいと思います。	「第5章 具体的な取り組み」の「1 資料の充実と専門職員の配置」の「(2) ぐらしに役立つ蔵書の増加」にあるとおり、一般的な図書に限らず多様なコンテンツでの資料提供についても検討していきます。図書館の強みを持つとのことのご意見については大規模な図書館を整備するのではない中で、重要な視点だと捉えています。
96		安定した蔵書数の確保や県立図書館や他市町の図書館とのネットワークはしっかり組み、市民のニーズに応えられる図書館運営を期待します。何よりも、将来の牧之原市を担う児童、生徒たちに学習意欲を喚起し、知識量が増えて生きる力が増すよう働きかけをお願いします。	「第5章 具体的な取り組み」の「1 資料の充実と専門職員の配置」の「(4) 児童向けサービスのさらなる充実」にあるように、当面の間、現行の「子ども読書活動推進計画」に沿って取り組んでいきます。今後、計画の見直しを図る中で児童サービスの拡充を検討し、図書館として実施可能なことから順次働きかけをしていきます。
97		子ども達が楽しい時間を過ごせ、定年後世代がゆっくりと時間を過ごせる、図書館にしてもらえると嬉しいです。	「第5章 具体的な取り組み」の「1 資料の充実と専門職員の配置」の「(2) ぐらしに役立つ蔵書の増加」にあるように、全国紙の新聞や、幅広いジャンルの雑誌が揃えられるよう努めます。
98		富士山静岡空港内に、市の広報として図書館側からアプローチをかける方法もアリではないでしょうか？	広報の1つの手法として、今後の検討において参考とさせていただきます。
99	でありを創る交流・憩いの場	環境の整備とスペースの確保は最も早く実現させてください。	図書館機能を拡充するために、本基本計画の着実な実施に努めていきます。
100		これからの時代、文明がどんどん進む中、活字を読む心の潤いを保てる居場所としても図書館は必要な場所であると考えます。どうか、市民のためにこの計画を実行に移してください。	
101		図書館をただ単に「本を提供する場」としてとらえるだけでなく、本を媒介して、さまざまなつながりを生み出そうと考えているところはとても大切な視点だと思いました。	
102		榛原・相良の図書館の充実を望みます。	
103		バリアフリーは急務	
104	新聞報道にありました相良図書館ですが、図書館の本質の軸がぶれないよう、また、広さは800平米を望みます。	本基本計画では図書館機能の拡充を目指しており、その規模としては計画を達成するために必要な広さを確保していきたいと考えています。800㎡という大きさについては要望としてお伺いします。	

No	該当部分	御意見	回答	
105	施策の方向性・具体的な取り組み であいを創る交流・憩いの場	事務スペース、学習スペース、読み聞かせスペース、ボランティア活動スペース、情報閲覧（PC/新聞）スペース、バックヤード必須。	具体的な内容については、各館の施設計画、サービス計画を作る際の参考とさせていただきます。	
106		書庫の設置（資料、情報の収集、保存）。		
107		講演会、講座、資料等の展示の部屋の設置。		
108		地域の歴史、文化、民話等の資料や情報を流すコーナーの充実。		
109		拡大鏡がある、全体のサインが大きくわかりやすい。		
110		環境に配慮した建物。		
111		入口には「開館日」「休館日」「催し物」等が大きくわかりやすく掲示されている。		
112		図書館内に本やパソコンをしながらくつろげるカフェを併設※一般企業より参入してもらうこと		飲食のできる席を設置し、長く滞在できる空間の整備を検討します。
113		一般図書とキッズ（幼児・児童）図書フロアを離す※本棚高さ設定も重要。キッズ幼児は低めにしフロアが見渡せるような高さにすること		キッズスペースについては、限られたスペースの中で、一般書と児童書が分けられるような配置を検討します。書架の高さについては子どもの目線や防犯上の死角がないよう配慮します。
114		本の閲覧機を増設 ※配置も重要		「第5章 具体的な取り組み」の「2 環境の整備とスペースの確保」の「（2）居心地の良い閲覧スペース」にあるように、より快適に読書を行えるよう机等にも留意します。
115		学生や一般者向けの部屋と学習機を確保 ※配置も重要	「第5章 具体的な取り組み」の「2 環境の整備とスペースの確保」の「（4）自分と向き合う学習スペース」にあるように、落ち着いて学習ができるよう学習席の設置に努めます。	
116		CD・DVDの貸し出しや視聴スペースを確保	限られた資料費の中で、まずは図書の充実を優先的に進めることを考えています。	
117	イベントが定期的に行えるようなスペースを確保→キッズコーナーを広くとった中でも可能	親子で滞在できるスペースを確保し、定期的におはなし会を開催できるよう検討します。		
118	外の人工芝のところはベンチだけでなく子連れがきても遊べるように遊具の設置（簡単な滑り台など）	市民の憩いの場所となる交流スペースとして考えていますので、遊具の設置は現在のところ考えておりません。		
119	学習 一人で落ち着いて本を読む、聞くことができるスペースをぜひお願いしたいです。	本計画において、閲覧スペース、学習スペース、ともに重要であると位置づけており、設置できるよう進めていきます。		
120	絵や書道作品の展示できるスペースが欲しいです。	【計画へ反映させた意見】 「第5章 具体的な取り組み」の「2 環境の整備とスペースの確保」の「（5）であいを創る交流スペース」中、「地域情報等」を「地域情報の発信、文化活動の展示ギャラリーを行う等」に変更します。		

No	該当部分	御意見	回答
121	施策の方向性・具体的な取り組み であいを創る交流・憩いの場	今回、ジャンボエンチャー相良店の閉店に伴い、この施設を借りて図書館にするという思い切ったアイデアには感服しました。閲覧室の㎡数も一気に広がるようで、期待されます。	「第3章 基本理念と基本方針」の「2 基本方針」の「(2) であいを創る交流・憩いの場」にあるように、今まで図書館を利用していなかった市民を含め、すべての市民が気楽に立ち寄ることのできるよう図書館の拡充を図ります。
122		“箱物”でなくても、できるところから進めていただきたいと思います。子育て支援や生涯学習の係(課)がある近くで、ついで寄りもでき、たくさんの方が利用できる図書館になってほしいです。良い図書館があるということは若い夫婦が住みたい町の1つの条件になると思います。	
123		本を貸し出すだけでなく、読書や学生達が勉強できるスペースの拡充を大いに考えていただきたいと思います。	スペースの拡充については、3つの基本方針のひとつに位置づけられており、機能の拡充に向けて推進していきます。
124		多くの市民が気軽に立ち寄れ、ゆったりと読書や学習ができ、又、読み聞かせができるスペースが欲しいと思います。	
125		読み聞かせの本を選ぶのにも大変苦勞をしています。 ①絵本選び 本を読んでいる母と子や子ども達がいると絵本を出して広げて選ぶスペースの確保ができず、「まあ、これでいいにしよう」が毎回の繰り返しです。 ②大型絵本・紙芝居 収納されている棚に余裕が無く、1冊ひっぱり出すと戻すのに大変です。勉強スペースに1人でも居ると開ける場所が確保できず、開けたり閉じたり相談する事もはばかられ棚の前の狭い通路で広げて出し入れをしている状態です。	「第5章 具体的な取り組み」の「2 環境の整備とスペースの確保」の「(3) 親子で楽しめる読み聞かせスペース」にあるように、子どもとゆっくり滞在できる空間作りに努めます。また、「(6) ボランティア活動スペース」にあるように、資料や道具の保管場所、打ち合わせや練習をする場所について検討します。
126		新聞報道による相良図書館の移転だが、岩手のオガールは人家を集中させ、行政負担を縮小させたい意向もあったと聞くので中途半端に真似してはだめです。	それぞれ地域の実情に応じた課題の解決方法がありますので、牧之原市にあった図書館の拡充を進めていきたいと考えています。
127		本を借りるだけでなく、誰でも来やすい場(展示コーナー) 閲覧や調べもの、情報提供、お話しのできるスペース、親子でゆったり読めるスペース、交流ができるゆったりできる第三の場であってほしい。	「家庭」「学校・職場」と違う、第三の居場所として図書館が選択できるよう、スペースの確保に努めていきます。
128		学生や社会人が積極的に利用できる広くて静かな閲覧スペース・学習スペースを確保することについても、市民の期待度が高いと考えます。	「第5章 具体的な取り組み」の「2 環境の整備とスペースの確保」の「(4) 自分と向き合う学習スペース」にあるように、落ち着いて学習ができるようスペースの設置に努めます。
129		寄りやすい、集いやすい、明るい図書館ができますよう、よろしく願いいたします。	
130		子ども達がもう少し活用できるよう、勉強のできるスペースがあるといいなあと思います。	
131		ただ机を個々に並べるだけでなく、目をあげれば窓の外に木々があつたりと、ほんの数秒でもほっとできる視野があつてほしいと願います。	外に自然が見えることや、館内に観葉植物を設置することは、憩いの場の機能として重要であると考えています。図書館が地域の文化や教育を支える存在となるよう努めます。
132		地域の進学校が躍進するためにも是非『学習ができる』図書館を作ってほしい。この環境で都会の子ども達と同じ土俵で試験をするのはなかなか。地域上げて榛南の教育発信に力を注いでほしいです。これ以上高校が統合されない様、学力や知識の実績で守れるものは守ってほしいです。	
133		交流や憩いの場でいろいろなスペースができるのは大変嬉しく思います。ミニコンサートのこともやっていただければ嬉しいです。	ミニコンサートを含め、従来の牧之原市立図書館ではできなかった、新たな発見や感動をもたらす企画等を検討していきます。

No	該当部分	御意見	回答
134	施策の方向性・具体的な取り組み であいを創る交流・憩いの場	『であいを創る交流・憩いの場』というのは、本当に必要なことだと思います。高齢者にとっても若者にとっても“図書館”という場を通して、人々がつながれたら、それはとても豊かな暮らしの、かけがえのない場になると思います。	市民の誰もが気軽に図書館を訪れ、世代を越えて交流ができることは本計画においても達成すべき重要な役割であるにとらえています。
135		他の図書館の様に、読む場所、学習する場所を多く作ってもらえれば、学生の使用が増えると思います。	「第5章 具体的な取り組み」の「2 環境の整備とスペースの確保」の「(2) 居心地のよい閲覧スペース」及び「(4) 自分と向き合う学習スペース」にあるように、学生を含め多くの方が図書館内で読書や学習に取り組めるスペースの確保に努めます。
136		現状では…車イスで利用したくても利用できない。閲覧スペース、学習席が少ない等。 基本計画(案)が期間内に実現することを希望します。	「第5章 具体的な取り組み」の「2 環境の整備とスペースの確保」の「(1) ユニバーサルデザインの推進」にあるように、誰もが使いやすい図書館となるように整備を進めていきます。
137		ジャンボエンチョー跡に店舗併設の施設ができるという今回の朗報は、例えば滋賀県のように貸出数などのデータが飛躍的に伸びる可能性を秘めていると思います。	図書館の機能拡充により、貸出数及び来館者数をさらに伸ばしていきたいと考えています。形態の違う図書館、例えば公民館を図書館の受取り窓口とすることも考えられますが、まずは向こう5年間で図書館本体の整備を優先的に進めていきます。
138		利用者の目的により図書館を選択できるよう、また遠出が難しい人が気軽に立ち寄れるよう、形態の違う図書館が近くにいくつかあるのが理想とするところです。	
139		人と視線が合わない角度で座れる大き目のソファが欲しい	
140		飲食ができるスペースが欲しい	利用者が長く図書館に滞在できるよう、居心地のよい空間作りに努めます。観葉植物やロッカーの設置については検討させていただきます。
141		観葉植物を多めに置いてほしい	
142		自主学习スペースは予約が可能にしてほしい	
143		ロッカーを作してほしい	
144		ユニバーサルデザインの推進について、今まで利用している方だけでなく、行きたくても敷居が高かった人にその高さをなくしていこうとする市民にやさしいところが第一にあげられていてよいことだと思いました。	誰もが使いやすい図書館となるよう、ユニバーサルデザインの推進に努めます。
145		図書館に出かけることで本だけでなくコミュニケーションが取れるような取組にも興味を持ちました。	図書館は読書するだけでなく、交流や憩いの場となると考えており、図書館の機能拡充の重要な視点として整備していきます。
146		子どもから高齢者までが勉強したり、読書を楽しめる場所ができればと思います。	「公共施設マネジメント基本計画」に基づき、地域の図書ネットワークの中核拠点となる施設を確保するために、相良、榛原両図書館の維持、拡充を図ることを考えています。
147		特に相良図書館は非常に狭く、相良庁舎、またはその付近でより広いスペースと高齢者等にも使いやすい場所の確保ができれば良いと思います。	相良地域の民間空き施設を活用し、現在よりも広いスペースを確保するよう努めます。

No	該当部分	御意見	回答	
148	施策の方向性・憩いの場 であいを創る交流・憩いの場	図書ボランティア活動室は必要だと実感しています。	「第5章 具体的な取り組み」の「2 環境の整備とスペースの確保」の「(6) ボランティア活動スペース」にあるように、打合せや読み聞かせの練習をしたり、おはなし会の道具を保管できる場所の設置に努めます。	
149		浜岡の図書館に比べると本の数や図書館の広さ、勉強するスペース等、もう少し大勢の人達に行きたいなって思ってもらえるような図書館になってほしいなと思いました。	本計画では各館の蔵書目標を5万冊としており、決して規模の大きな図書館ではありませんが、牧之原市独自の魅力ある図書館になるよう努めます。	
150		駐車場も狭いため、停められない時があったのもう少し広いと助かります。	ご不便をおかけし申し訳ありませんでした。駐車スペースについて十分確保できるよう検討します。	
151		小さな子どもの読み聞かせブース、児童、学生の自主勉スペースの以上2点を、はなれた場所に作ってほしい。自主勉スペースは、しずかな所で勉強できるように。自転車置き場を作ってほしい。事故がないように。	集中して学習に取り組めるよう学習スペースと、声を出す機会の多い読み聞かせスペースの配置についてはお互いの長所を活かす配置になるよう配慮します。自転車置き場については安全に利用できる場所になるよう検討します。	
152		新しい文化に出会ったり、いろいろな年代の人と交流できたりするような図書館の計画に、とても期待をしています。そこに向かうとわくわくするような場所作りを進めていっていただければと思います。	【計画へ反映させた意見】 「第3章 基本理念と基本方針」の「1 基本理念」中、「本市では、図書館が市民生活を支える知の拠点であるとともに」を「本市では、図書館が市民生活を支える知や文化の拠点であるとともに」に変更します。	
153		住民ひとりひとりが賢く、暮らしを豊かに生きていくために、必要な文化の拠点となるように願っています。		
154		市民の憩いの場となる様に開放的でバリアフリーの明るくて広いスペースを確保していただきたいと思います。できればおはなし会の練習をしたり、作品を保管する場所も作ってください！	市民の憩いの場となるよう、明るさや棚の配置を検討していきます。おはなし会の練習や作品を保管する場所についても、どこにその場所を設置するのも含めて検討していきます。	
155		子どもから大人までゆっくり本を読める場所を造ってほしいです。	「第5章 具体的な取り組み」の「2 環境の整備とスペースの確保」の「(2) 居心地のよい閲覧スペース」にあるように、快適に読書ができるよう、机やイスの設置も含めて整備を進めていきます。	
156		本の充実は当然ですが、市民が集えるようなにぎわいのあるスペースにしてください。	資料を充実させるだけでなく、図書館へ来た市民が交流できるような場となるよう努めます。	
157		とにかく何とかして一度足を運んでもらう工夫が必要かもしれません。本の貸出だけでなく、調べ学習や文化面での発展の場、読み聞かせの場の確保など。	図書館に今まで来たことのない方にも来館いただき、継続して利用してもらえるよう居心地のよい雰囲気作りを進めていきます。	
158		図書館に通うのが、生活の一部となるような場所にしてほしい。	読書をするだけでなく、市民の課題解決や、地域情報を発信していく等、図書館が生活により身近に感じられる存在となるよう努めます。	
159		あなたと図書館をつなぐ ネットワーク	ブックポストやメールカーの運行等利用者の利便性を考えていただき、これからも期待しています。	ブックポストやメールカーは利用者の利便性に直結する重要な役割を担っていると考えており、設置について検討します。
160			時間外、休みの時でも返却できるようにポストがほしい。	
161	図書館HPの開設（予約・検索システム、新刊情報、イベント情報、年代別人気図書情報などを導入）		「第5章 具体的な取り組み」の「3 図書館システムの構築」の「(3) 多様な広報活動による情報発信」にあるように、牧之原市立図書館のWEBサイトを作成し、新着図書の情報や図書館イベントのお知らせ等を積極的に行えるよう検討します。	

No	該当部分	御意見	回答	
162	施策の方向性・具体的な取り組み	あなたと図書館をつなぐネットワーク	「第5章 具体的な取り組み」の「3 図書館システムの構築」の「(1) 図書館オンラインシステムの導入」にあるように、図書館利用者の利便性を高め、職員の業務効率を向上させるために、オンラインによる電算化を含めた体系的な図書館システムを早期に構築できるよう努めます。	
163				いろいろな人が情報を得ることができるオンライン化をお願いしたいです。
164				県内で、おうだんくんに参加していないのは牧之原市だけです。運営費用がどれくらい掛るのか判りませんが、牧之原市よりももっと規模の小さい市町ですら加入しているのですから、牧之原市に出来ない筈はないと思うのです。
165				オンライン化は早急に実施してほしい
166				オンライン化で図書館と家庭をつないで利便性を向上させることが急務であると思います。
167				ネットワーク化 蔵書数の少ない図書館であるならば、より必要性があるものと思います。計画にも入っておりますが、なるべく早くに実現してほしいと思っています。
168				静岡県立図書館の横断システムにも入っていないことは、情報格差的に見ても大変不利益な状況だと思えます。早期に解決していただきたく、計画を進めて欲しいと賛同します。
169				図書館の本が検索できることも大切ですが、図書館への本のリクエストもオンライン（本人認証は必要）で可能とし、リクエストされた本が入荷されたこともオンラインで即時通知すれば、利用者を増やすことにもつながるのではないかと考えます。
170				ネットワーク化は大変ありがたい。予約にあわせ、リクエストもネットでお問い合わせできるとありがたい。
171				貸し借り、返却、居ながらにして所蔵本が調べられるインターネットの利用ができることや、返却場所が多くなることは大変嬉しいですし、ハードルが低くなり、利用者も期待できるのではないのでしょうか。
172	図書館のオンライン導入、ICT活用に期待しています。スマホやPCから本の所蔵検索・予約などができれば図書館へ出向いたり、電話で問い合わせする手間が減り、とても便利になります。			
173	事業の充実とネットワーク名図書館や小学校への連携が取れるようにしたい。	「第5章 具体的な取り組み」の「3 図書館システムの構築」の「(1) 図書館オンラインシステムの導入」にあるように、インターネットから牧之原市立図書館の資料を検索し、借りたい資料を借りたい場所で受け取ることができるよう図書館システムを整備します。その際に「おうだんくんサーチ」にも参加します。		
174	オンラインは必須！ただ、ブックポストは個人的にはほらない。	オンラインシステムは牧之原市立図書館内をつなぐことを考えています。学校に対しては、資料の貸出や図書館見学等での連携を行っていきます。		
175	朗読会などで派生する著作権料の事ですが、図書館のパソコンで教えて頂いたり、更に言えば代行していただけたら有難い事だと思っております。	図書館オンラインシステムは計画に沿って導入を進めたいと考えています。ブックポストはメリット、デメリットを整理しながら設置の検討をしていきます。		
176	図書館に「牧之原市の広報機能」を持たせるべきではないのでしょうか？であれば、オンライン化の意義も深まると考えます。	著作権については、使用者による申請をお願いしておりますが、申請方法等でお困りの際はお調べいたしますので、窓口へおたずねください。		
177		オンラインシステムについては、図書館利用者の利便性の向上及び職員の業務効率の向上を目的に導入を目指すものですが、市の情報発信、広報機能という役割については今後の検討とさせていただきたいと思えます。		

No	該当部分	御意見	回答
176	施策の方向性・具体的な取り組み	あなたと図書館をつなぐネットワークシステムの導入・維持や、公民館などの作業負担の増加など考慮すべきことはあると思いますが、おそらく各公民館などにも良い本がたくさんあります。これらを一元管理することで、蔵書数と書架を増やすほか、蔵書の幅も広げることができるかも知れません。	現在は市立図書館の資料についても一元管理ができていない状況であり、まずは図書館資料の管理を優先することを考えています。ご意見については参考とさせていただきます。
177	施策の方向性・具体的な取り組み	図書館に交流拠点の機能を追加するのではなく、交流拠点に図書館の機能を付加するという発想です。どこの図書館や公民館などにある本でも、どこでも貸出返却できるのが理想です。	現在、本市の図書館は床面積、蔵書数、職員数、どれも小さく運営しており、まずは図書館本体の機能を拡充することを考えています。公民館等への図書館機能付加という視点は次のステップに向けての参考とさせていただけたらと考えています。